

西洋服飾の史的事象におけるジェンダー研究

新實 五穂 / NIIMI, Iho

生活科学部人間生活学科

■専門分野 西洋服飾論、ジェンダー
■キーワード 服装における性差、異性装、法令と服飾

連絡先 niimi.iho@ocha.ac.jp
http://www.aesthe.ocha.ac.jp/profs/niimii.html

研究内容

■概要（背景・目的・内容）

持続可能な社会を目指す上で、文化多様性および多文化共生は重要なテーマの一つであり、性の多様性の文化表象である異性装に関する研究は、近年、学際的な営為が積み重ねられている。

本研究では、近代フランスにおけるジョルジュ・サンドの服装、およびサン＝シモン主義者の制服制度を事例として、異性装や女性運動について明らかにするとともに、当時のジェンダー規範を明確にすることを目的として研究を進めてきた。現在は、19世紀初頭の「異性装に関する警察令」をはじめ、近現代フランスにおける法令と服飾との関係について主に考察を行っている。

■応用・将来展望

ヨーロッパの史的事象を事例として、服装における性差について考察を続け、服飾をめぐるジェンダーの接近・同化・越境のシステムを明らかにしていきたい。具体的には、警察令に限らず、刑法なども含めて幅広く法令を分析することを通して、近現代フランスの服装規定の全体像を究明するとともに、体制側がどのようなジェンダー規範や身体イメージの構築を目指したかについて引き続き調査を進める。

■活動実績

東海ジェンダー研究所「第11回個人研究助成」採択 新實五穂 研究課題「19世紀フランスにおける異性装研究—ジョルジュ・サンドと女性サン＝シモン主義者—」 2007年7月～2008年3月。

科学研究費補助金（基盤研究（C）（一般）） 徳井淑子（研究代表者）・新實五穂（研究分担者）・小山直子・西浦麻美子 研究課題「服飾の史的事象によるジェンダー感性論」 2008年度～2010年度。

文部科学省「人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業」委託費による「服飾文化共同研究」に関わる共同研究課題採択 伊藤亜紀（研究統括者）・新實五穂（研究分担者）・水野千依 研究課題「西洋服飾の史的事象におけるジェンダー論」 2008年度～2010年度。

主要研究成果

新實五穂『社会表象としての服飾—近代フランスにおける異性装の研究—』 東信堂 2010年10月

日本ジョルジュ・サンド学会『200年目のジョルジュ・サンド—解釈の最先端と受容史—』 新評論 2012年5月 第1部第1章「性を装う主人公」 25-37頁

内村理奈編著『ファッションビジネスの文化論』 北樹出版 2014年10月 第6章「ジェンダーのゆくえ」 98-112頁

徳井淑子・朝倉三枝・内村理奈・角田奈歩・新實五穂・原口碧『フランス・モード史への招待』 悠書館 2016年4月 第1部第3章「性は規制される」 111-135頁